



SIP スマートバイオ産業・農業基盤技術 輸出プラットフォーム

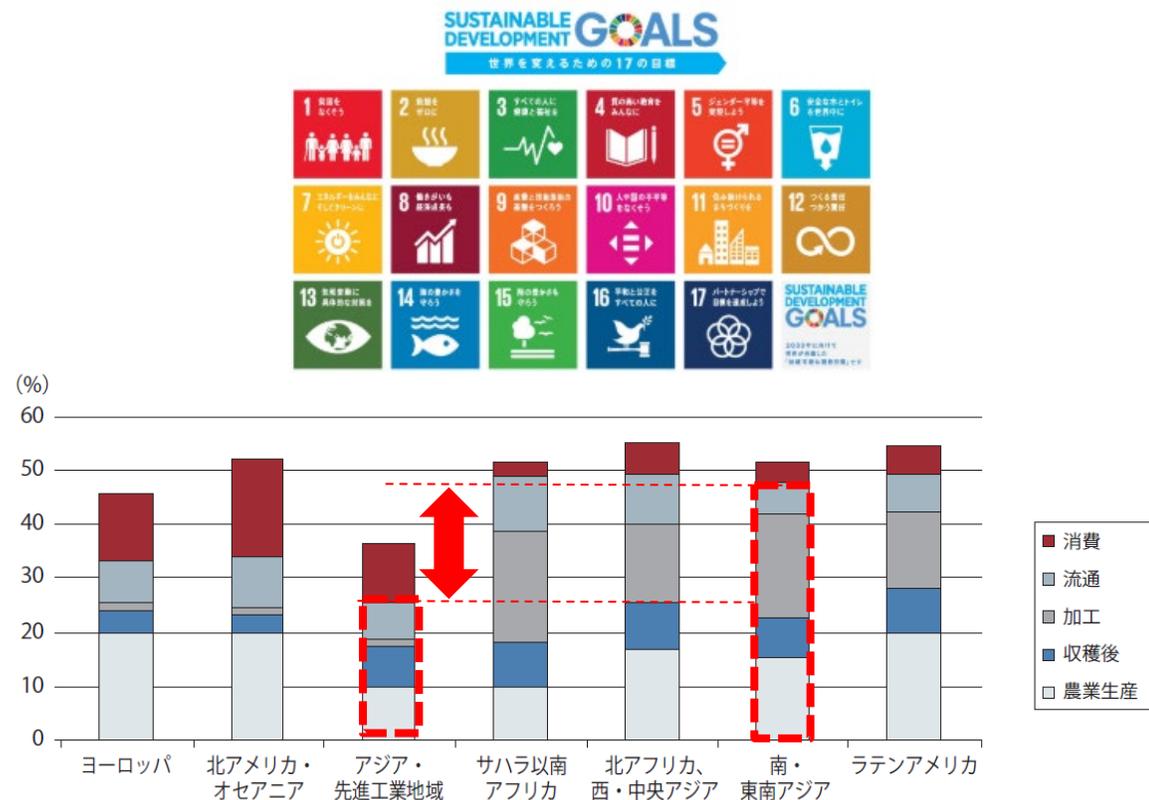
内閣府戦略的イノベーション創造プログラム（SIP） ブロックチェーンを活用した輸出実証試験 【輸出実証試験参加者募集】

2021年11月5日

三菱ケミカル株式会社
吉田 重信

・コールドチェーンの信頼性を担保し廃棄ロスの削減、農林水産物の輸出を推進

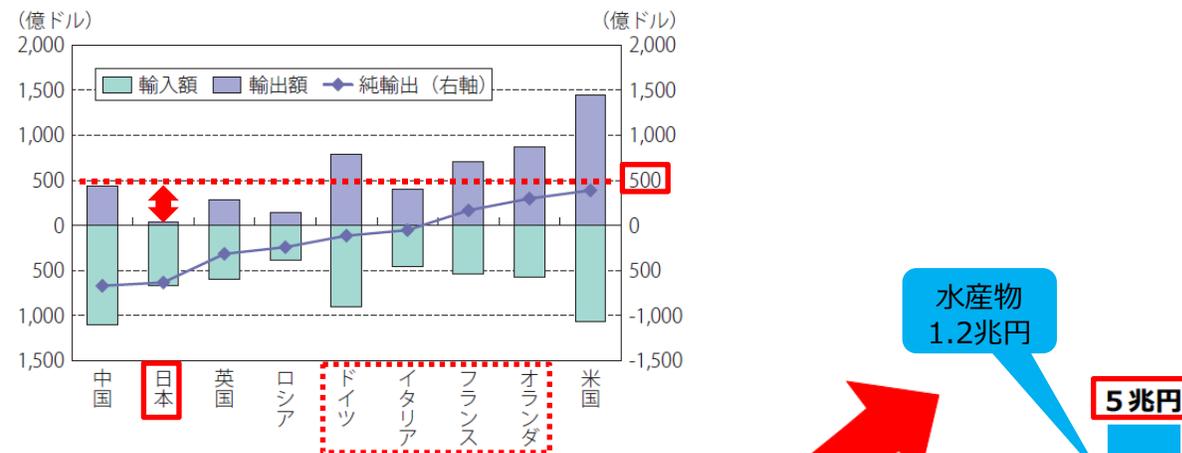
スマートフードチェーンの温度管理による廃棄ロス削減



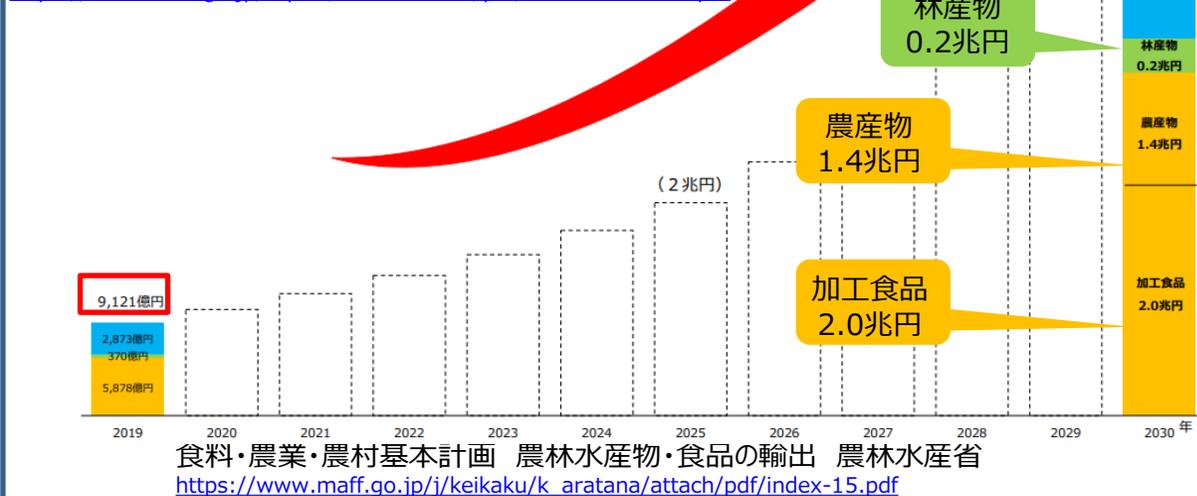
地域別、フードサプライチェーンの各段階で発生したロス・廃棄量の 当初生産量に占める割合 (果実および野菜類) 世界の食料ロスと食料廃棄 FAO

http://jaicaf.or.jp/fao/publication/shoseki_2011_1.pdf

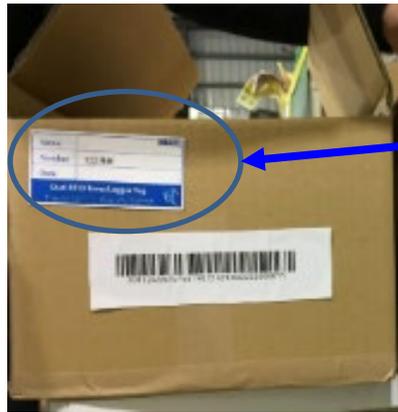
スマートフードチェーンの信頼性担保、省力化による輸出の推進



各国の食料品等の輸出入額 (2012年) 通商白書 2016
https://www.meti.go.jp/report/tsuhaku2016/pdf/2016_02-03-04.pdf

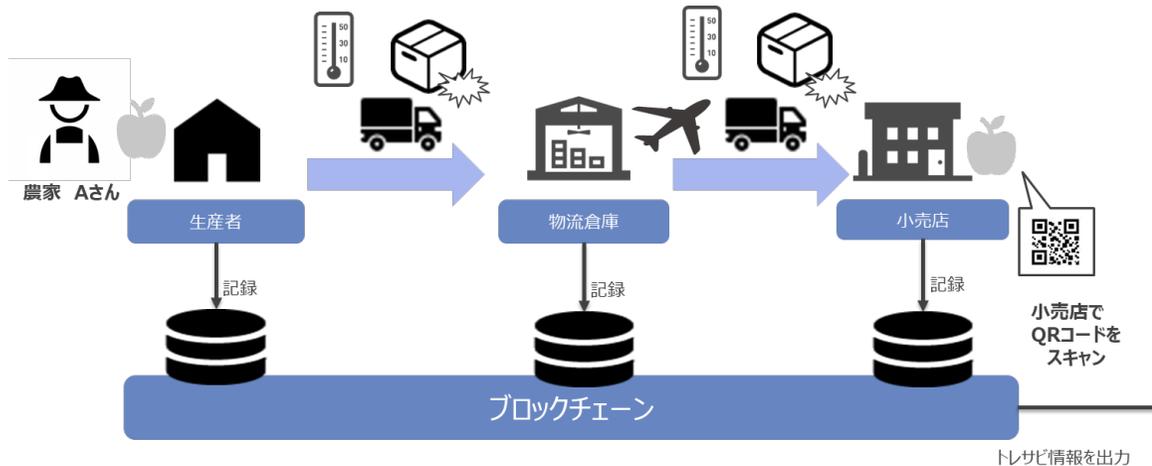


- ・ブロックチェーンを活用した情報連携による**安全・安心の担保**（生産者、温度履歴の管理等）による**拡販効果**
- ・簡便な温度履歴管理による、**品質管理の向上**（廃棄ロス削減）

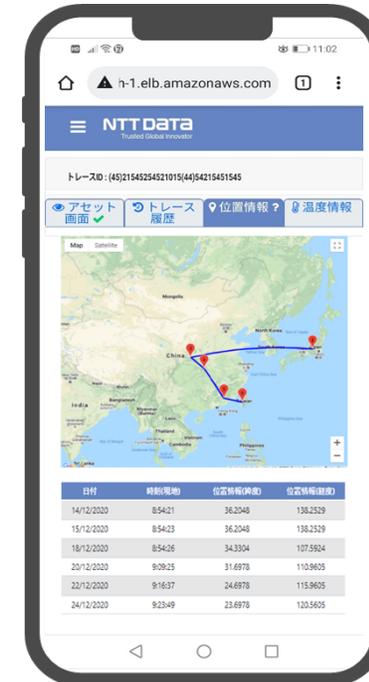


Name	
Number	023 外側
Date	
Dual RFID Temp Logger Tag	

■シールタイプ温度計（RFID）
メモリー：4,864（15分間隔で約50日）
電池寿命：1年
測定温度：-35℃～+50℃



生産者や農産物等の
情報

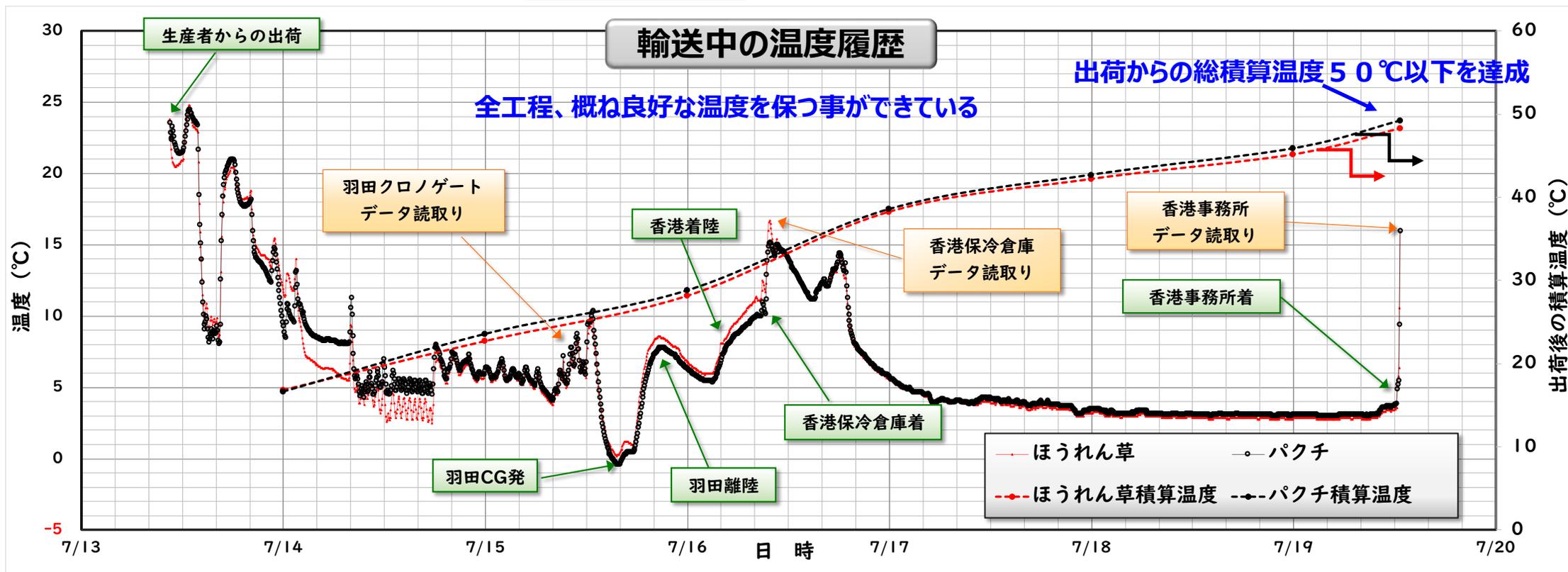
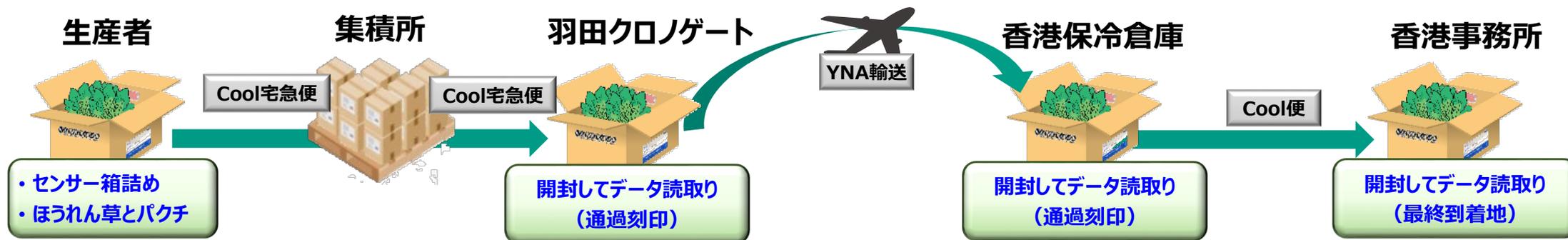


商品の流通経路



生産者～小売店間の
温度推移

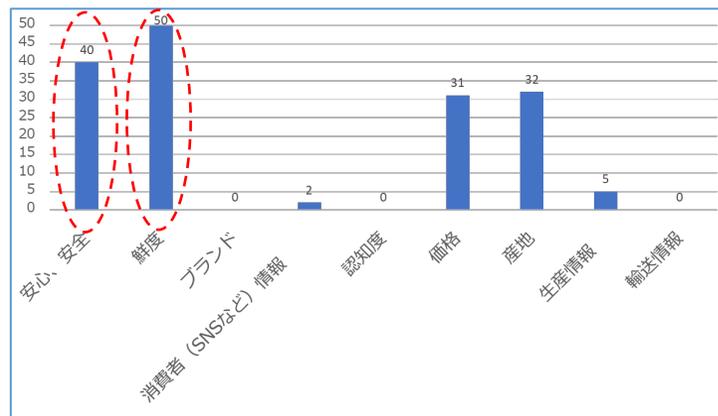
・香港での温度履歴読み取り事例



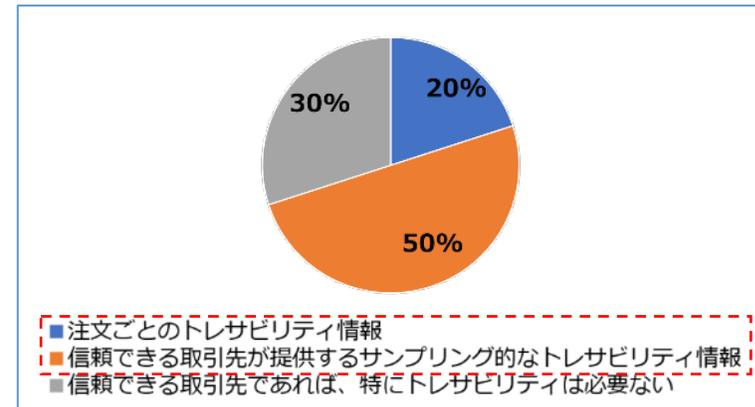
香港ABCクッキング様でアンケート調査を実施し、スマートフードチェーンを活用した日本のイチゴ、野菜の「安心・安全」「鮮度」における価値向上を確認



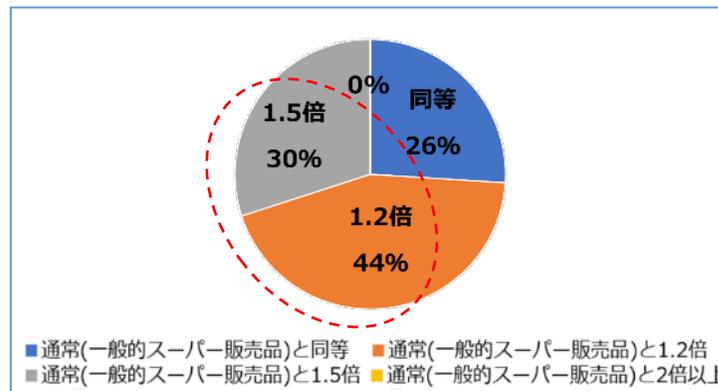
○農産物を購入するに至る判断基準は何ですか(最多3つまで選択)



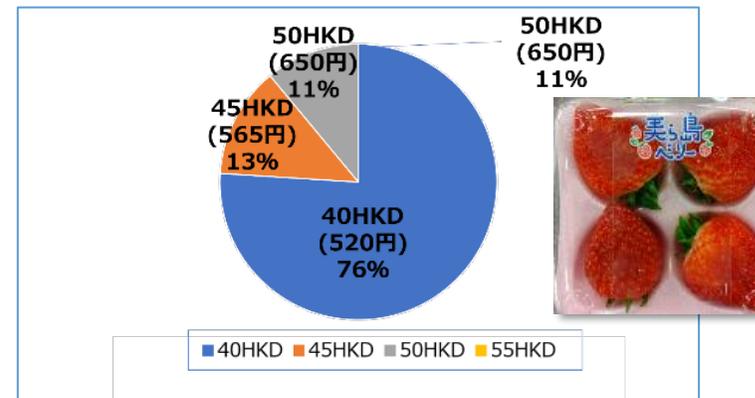
○日本の農産物の品質を担保するために、トレーサビリティに関する情報は必要ですか



○日本の農産物(トレーサビリティが担保)に対して支払える価格



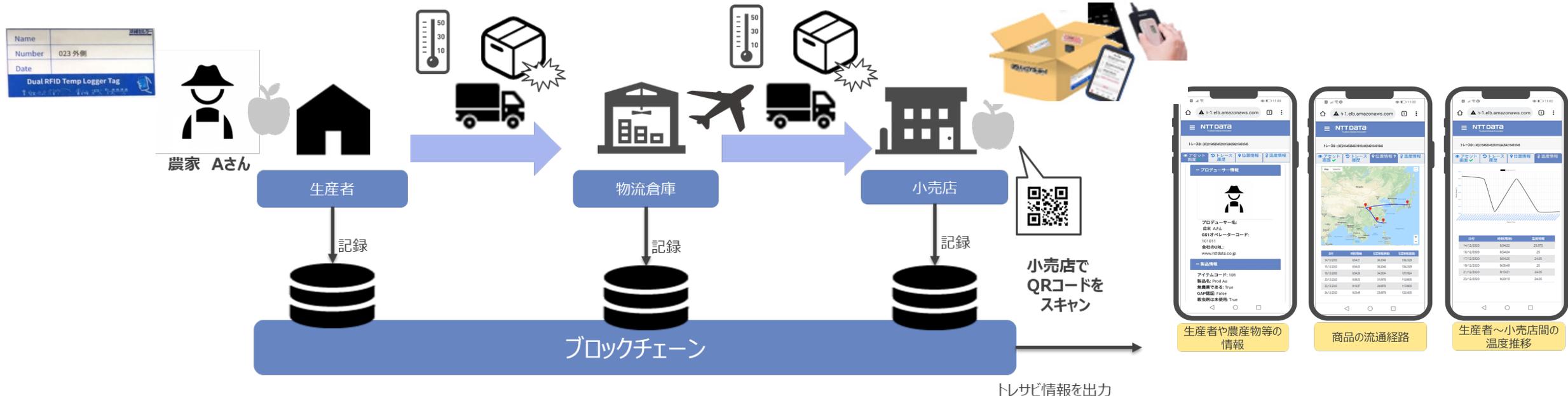
○今回のいちごの購入に対して支払える価格



輸出実証試験参加者募集

輸出においてスマートフードチェーンシステムをご使用頂き、感想をお聞かせください。

- 実施期間：2022年1月~12月（予定）
- 連携先様の作業
 - ① 温度計、QRコードの貼り付け（出荷時）
 - ② 携帯電話による物流拠点の位置情報刻印（国内倉庫等）
 - ③ 携帯電話による温度情報等のデータ転送（輸出先）
 - ④ QRコード読み取りによる生産者情報、温度情報をご確認頂き、システムについてのご意見をお聞かせください
- ご提供内容（下記費用以外は連携先様にてご負担をお願いいたします）
 - ① シールタイプ温度計、QRコードシール
 - ② ブロックチェーンを活用したスマートフードチェーンシステムのアプリ





ご清聴ありがとうございました

11月24日（水）～26日（木）のアグリビジネス創出フェアにてパネル展示をおこます。
12月7日（火）15:00～16:30にて実証試験説明会を開催いたしますのでご参加ください。

実証試験参加をご希望の方は三菱ケミカル事務局までご連絡ください。
三菱ケミカル事務局（大島）：oshima.shinzo.ma@m-chemical.co.jp